

みんなとともに笑顔いっぱい — 「学びあい」「認めあい」「高めあい」 —



みんなとともに



登校時、1週目は昇降口前にいたのですが、今週は地域に出て子どもの様子を見てみました。一番の変化は、2年生がお家の方と別れる位置が、より遠くになったことです。お家の方にとっては寂しいことではありますが、それが「自立」ということなのだと思います。黄色い帽子が取れ楽
天の帽子(?)を被るその顔は、やはり1年生とは違う「2年生の顔」になっていると感じました。



「スポーツフェスティバル」について

3週間後の5月8日(土)には「スポーツフェスティバル」が予定されています。ここでは、この行事の大枠についてお伝えします。

【目指すところ】

ぱっと集まって、その場で楽しむことのできる「子どものためのスポーツ集会」とする。その様子を保護者の方に見ていただいている、ととらえる。
(従来型のように、見栄えを気にして練習に時間をかけるのではなく、「楽しむ」ことを第一義とする。)

【「名前」について】

「運動を楽しむ」という主眼から、行事名を「運動会」ではなく「スポーツフェスティバル」という名前にする。

【「時期」について】

これまで5月下旬に行うことが多かったが、ここ最近は異常な高温に見舞われ、熱中症が心配される状況もあった。そこで、比較的運動をしやすい時期に実施することにする。

また、連休明けにすることで、練習に主眼を置かない行事という位置付けとする。

【「内容」について】

- 全学年が一堂に会して行う。(昨年度のように、上・下学年には分けない。)
- 種目は、個人種目1種目と、団体種目(低・中・高学年別)2種目の予定である。
- 鼓笛の演奏(5・6年)を行う。

【その他】

- コロナ禍であることを鑑み、来賓への案内は行わない。
- 職員が減ったため、保護者ボランティアを募ることもある。
- 午前の行事とし、昼食前に終了する。

※ 先日のお昼の放送で、代表委員会から「スローガン」募集のお知らせがありました。

【校長のつぶやき】 その65 「行きたい国1位 日本！」

土曜日の夜に「世界一受けたい授業」という番組をやっている。前回の内容の一つは「コロナが収束したら行きたい国！日本のスゴイところ！」であった。その理由である。1つ目は「日本人らしい謙虚さや礼儀正しい姿勢」、2つ目は「清潔力」、3つ目は「治安のよさ」、4つ目は「料理がおいしい」、5つ目は「相手を思いやる心」であった。解説をした外国の方は、その中のいくつかは、「給食」や「清掃」など“学校教育での体験”がベースにあることを話していた。

これまで外国との比較の中で、ややもすると否定的にとらえられることもあった日本人の有り様は、もしかするとこれからは“世界のスタンダード”になり得るのかもしれない。そのときには「日本の学校教育のあり方のよいところ」も世界へと広がっていけば、うれしい限りである。

【校長のつぶやき】 その66 「相性(あいしょう)」

人には「相性」というものがあると思う。その関係性を“説明可能”なこともあるし、“何となく”ということもある。相性がわるくてもたまに会うのなら問題はないが、毎日顔を合わせるとなると苦痛にもなる。

私は「担任」と「子ども」の間にも、この「相性」はあるのではないかと感じている。子どもや保護者の方の立場に立つと、相性のよい担任のときは「来年もまた受け持ってもらいたい」と思い、その逆のときは「担任が変わるといいな」と思う。相性であるから、その思いはそれぞれである。

と言いながら、私も本校在籍が4年目になってしまった。相性のわるさを感じている方には、全くもって申し訳ない次第である。ただ、私としては、「本校との相性は100%である」という“私の勝手な思い込み”を許していただければありがたいのだが・・・。